

平成21年8月期 月次売上速報

- 数値はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値とは異なります。
- ソフマップを除く当社小売グループのPOSデータ、及び、インターネット通販の売上データを集計しております。
(当社小売グループ: ビックカメラ、ビック・スポーツ、ビック・トイズ、ビック酒販、生毛工房)
- 数値には携帯電話加入申込手数料、インターネット取次手数料等の手数料売上は含まれておりません。

1. 売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成20年 9月	10月	11月	12月	平成21年 1月	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
売上高	98.0	100.6	101.7	88.1	95.2	90.7	95.1	95.1	91.8	97.7				94.8	95.0

2. 品目別売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成20年 9月	10月	11月	12月	平成21年 1月	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
音響映像商品	<u>104.6</u>	<u>109.4</u>	<u>105.4</u>	<u>91.5</u>	<u>102.2</u>	98.6	100.8	101.0	93.9	104.4				99.7	100.5
家庭電化商品	102.8	103.6	111.6	92.3	109.4	100.6	102.8	104.4	102.5	111.0				106.0	103.9
情報通信機器商品	<u>95.2</u>	<u>95.6</u>	<u>96.6</u>	<u>86.3</u>	<u>89.8</u>	82.7	90.7	86.4	88.3	86.6				87.1	89.4
その他の商品	85.4	89.2	94.4	81.6	80.0	82.1	84.9	88.8	84.3	89.4				87.5	85.7

※2月26日に発表いたしました平成21年8月期第1四半期決算短信の品目別売上高において「デジタルカメラおよびそのアクセサリ」を、従来のカテゴリーである「情報通信機器商品」から「音響映像商品」に変更いたしました。それに伴い、「月次売上速報」でも、昨年9月に遡り品目別売上高の数値の一部を変更いたしております。(変更箇所は「下線」で表記)

3. 概況

- ・エコポイント制度の対象3品目は、5月15日の同制度開始以降大きな伸びを示しましたが、同制度開始以前の買い控えの影響があり全体を大きく押し上げるには至りませんでした。個別には、テレビ、冷蔵庫は需要の高まりに加え、大型モデルの売上構成が増加したこともあり、前年同月比30%強の伸びを示しました。一方、エアコンは昨年の高いハードルもあり前年同月並みとなりました。
- ・音響映像商品は、薄型テレビ、BDレコーダーが好調に推移いたしました。一方、デジタルカメラ、オーディオは苦戦いたしました。
- ・家庭電化商品は、冷蔵庫、洗濯機、調理家電が好調に推移し、季節家電、理美容家電は堅調に推移いたしました。
- ・情報通信機器商品は、パソコン本体、パソコン周辺機器が苦戦いたしました。
- ・その他の商品は、玩具が好調に推移し、酒類は堅調に推移いたしました。一方、ゲームが苦戦いたしました。